

# 東地区コミュニティだより

## 東地区コミュニティ推進協議会

将来、日本の急激な人口減少に伴って、当22町内会で組織していた「東地区連合町内会」においても少子高齢化が進み、20年、30年、40年後、単位町内会では組織化できなくなり運営すらままならない時が必ずややって来ると思われます。コミュニティとは、「一定の地域に居住し、共属感情を持つ人々の集団」「地域社会」(広辞苑)のように、健全な地域社会を構築するには、22町内会が一つの集合体としてまとまり、各種団体も加え、拡大した組織化、相互に互助精神を持つて次世代まで活動を継続していかなければなりません。このような強い意志から各町内会長さん方と何回も協議し、市役所・上北地域県民局から指導を受け、一年以上の時間をかけ東地区コミュニティ推進協議会として改組するに至った訳です。

この機構を拡大するだけでなく、いかに組織化し有意義なものにするかは、地域の皆様をはじめ、市の支援、子ども会、高齢者や女性の活躍する場をつくり、PTA、民生委員、保健協力委員の支援、防犯防災組織の協力、青少年健全育成協議会・体育振興会等も含め、多種多様な組織や団体への協力についても細部にわたって、ていねいに協議し検討を加えていかなければならないと思っております。

これからは数十年先を見据えた取り組みとして町内会のみならず、東小学校を中心とし、東小学校・東中学校・東小学校PTA・青少年健全育成協議会・民生児童委員・体育振興会・災害等の防災士・保健協力員等各団体と一緒に取り組んで行こうという主旨のもと「東地区連合町内会」改め「東地区コミュニティ推進協議会」としての大組織が6月30日設立されました。人間は、生まれながらにして「健康で楽しい生活」が生涯にわたって保障されているにもかかわらず、当地区(東地区コミュニティ)には一人暮らしの老人や恵まれない環境にある児童・生徒も含めその他いろいろな課題を抱え、問題解決に至っていないことがたくさん存在しています。単位町内会においても会を運営するのに苦勞し、そこまで手が届かないのが現状です。

このような見解から執行にあたる私達は、多面的・大局的な立場から「いかにしたら地域の活性化と一人ひとりの願いを成就できるのか」を中心に、地域でやれる事は地域で守っていきと云う思いで鋭意努力して参りたいと思っております。何よりも地域の一人ひとりのご協力と参加によって有意義な活動へとつなげるものと確信し、今一度重ねてご協力をお願い申し上げます。



東地区連合町内会改め  
**「東地区コミュニティ推進協議会」**  
設立にあたって  
東地区コミュニティ推進協議会  
会長 太田 薫  
(二本沢町内会長)

### 東地区連合町内会改め東地区コミュニティ推進協議会設立の会



### 地域コミュニティ設立に寄せて



東小学校  
校長  
小原 広基

東小学校2年目の小原です。学区地域の皆様には、子どもたちの日々の見守りや温かな応援等心より感謝を申し上げます。

また、この地域で、年間を通じて様々な行事や連携事業等が、関係者の尽力と多くの方々の協力によって途切れることなく行われていることに心より敬意を表します。

さて、そのような、地域を愛する素晴らしい方々が住み、連携と協力に支えられた集いを何よりも大切にできた地域が、今年度、ついに「東地区コミュニティ」として動き出したことに、まずは心よりお祝いを申し上げます。おめでとうございます！

ここで一つ、私事ですがコミュニティにちなんだ思い出話をします。

かつて私が南小学校で教頭をしていた当時、県内屈指の歴史を誇る「南地区コミュニティ」の皆様は大変お世話になりました。当地区は関係組織の体制や連携はもちろんです、学校との協力関係も盤石で、日々の見守り活動の他、毎年秋に開催される「南公民館祭り」の盛り上がりには感動すら覚えました。

それから十年近くの時を経て、今度は自分が勤務する東小学校を基盤とする「東地区コミュニティ」設立に関わることとなり、自分とコミュニティとの、何か縁のようなものを感じている次第です。もとより「地域と共に歩む学校づくり」を学校経営の柱とする私にとって、この関係は、この上ない幸せであります。

最後になりますが、ここまで来る中で、地区二十町内会長様をはじめ、体育振興会長様、青少年健全育成協議会会長様等々様々なご苦勞があったこととご推察いたします。

私としては、東地区コミュニティの活動活性化のために、学校としての協力ができるのか、本校PTA役員をはじめ地域の皆様と話し合っていきたいと思っております。

そして何よりも、次代を担う地域の宝である子どもたちに、この地域を愛する心を育んでいかなければと、思いを新たにしています。

### 地域社会との連携を



東中学校  
校長  
和田 泰勝

東地区コミュニティ推進協議会の発足、誠におめでとございます。学区の中学校として、心からお喜び申し上げます。

今を生きる生徒たちにとって、中学校は将来の社会生活に向けた準備段階(下地づくり)の場だと思っています。特に現実の社会が急激に変化している中、中学校の果たす役割はとて重要だと痛切に感じています。

小・中学校という校種間の連携はもちろんです、地域のつながりを意図した連携がこれからは大事になってくると思います。学校・家庭(保護者)・地域社会がそれぞれ役割と責任を自覚し、協力することによって、地域社会全体で、生徒たちが安心して生活できる環境を整えるものです。

生徒たちの発達段階に応じて、社会で

生きていくための自立につながる社会性を身につけられるよう、地域社会が温かく見守り、支援できればと思います。未来を生き抜く生徒たちをみんな育てていきたいと思います。よろしくお願ひします。

### 東地区コミュニティ推進協議会発足にあたり



東小学校  
PTA会長  
小笠原 裕也

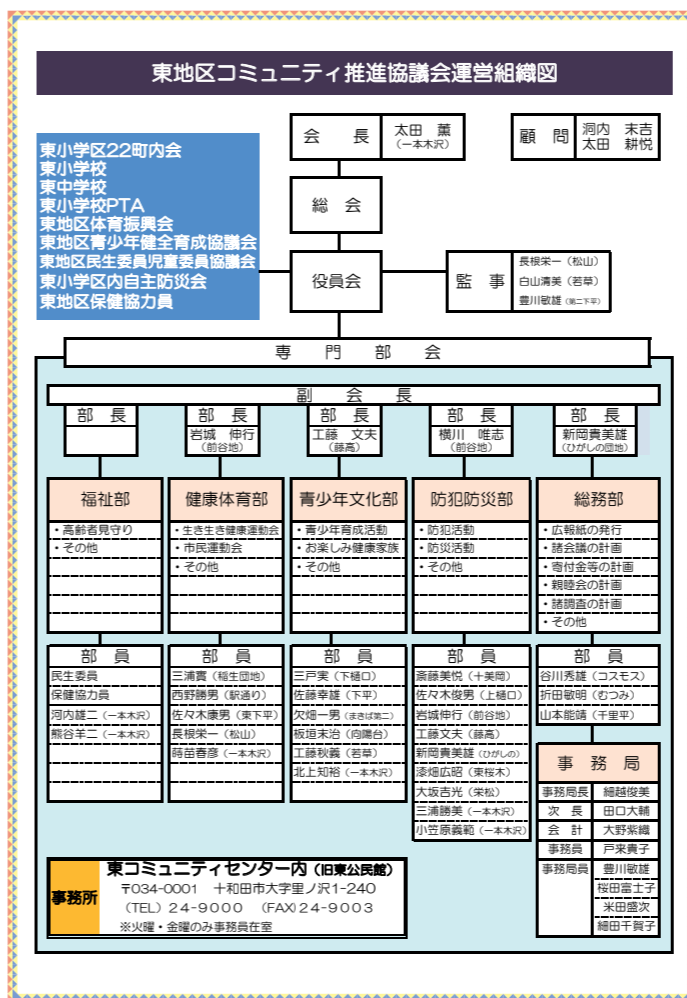
皆様には、日頃よりPTA活動にご理解、ご協力いただき誠にありがとうございます。

この度、6月30日に東地区コミュニティ推進協議会が設立されました。これは、少子高齢化や人口減少で町内会活動が難

しくなる中、東地区にある町内会、東小学校、東中学校、体育振興会、防災会などを組織化したものです。

近年、通学路の安全確保が課題とされ、「ブロック塀や外壁等の転倒の恐れ」などの防災の観点、「人・車通り観点など多様な対策が求められています。これらの課題については、学校やPTA、スクールサポーターだけの活動では対策に限界があります。今後は、コミュニティと連携しながら、対策に取り組んでいきたいと思っております。

私自身もコミュニティ組織というものを勉強中であり、研修会やコミュニティ活動にも積極的に取り組んでいきたいと思っております。PTA会員の皆様方におかれましては、積極的に参加し、少子高齢化に負けない活発なコミュニティ組織となるようご協力をお願い致します。







去る、平成30年8月26日(日)、東地区コミュニティ推進協議会による「第1回東地区いきいき健康運動会」が開催されました。

東地区連合町内会から改組して初めての運動会は、子どもからお年寄りまで多数参加し、いきいき健康づくりの一環として大いに盛り上がり、楽しい一時を過ごしました。



# 平成30年度 第1回東地区 いきいき健康運動会



「元気の出るコミュニティづくり」と題しての講演で、コミュニティ推進協議会を発足した私共には、誠にまとを得たお話しで、今後の協議会の取り組み方について勉強になりました。内海先生には大変有意義なお話しありがとうございました。次回の「第2回まちづくり塾」が楽しみです。今後、ワークショップ(座談会)も計画しておりますので、地区の皆さんも是非参加してください。



**第1回「まちづくり塾」開催!**

・平成30年8月30日(木) ・一本木沢会館

・主催 上北県民局・十和田市  
・共催 東地区コミュニティ推進協議会

講師 一般財団法人 政策集団地域再生青森会議  
特別研究員 内海 隆氏

恒例の十和田市秋祭りが9月7・8・9日の3日間盛大に開催されました。当地区は東小・中学校の協力もあり、沢山の子も参加し大いに賑わい、活気あふれる祭りとなりました。

山車小屋の発電機等の機器が盗難に遭うというアクシデントに見舞われ道具がない状態からスタートし、盗難にちなんで「盗賊 石川五右衛門」を見事に作製しました。

平成最後の秋祭りを質素儉約で迎えながらも、子ども達に「ふるさとの思い出」を体験させる事が出来たと思います。来年も皆で力を合わせて頑張ります。

**秋祭り** 東地区「あけぼの祭典」

祭典委員長 工藤 文夫

